

## 小学校で出前授業を実施

柏崎周辺農業水利事業所 調査設計課 有田 昌央

平成27年6月2日（火）、3日（水）に柏崎市西山町にある小学校（内郷小学校（8名）と二田小学校（21名））を対象に出前授業を行いました。両校では、総合学習の中で、地域の自然環境や水の源について学んでおり、今回の出前授業は、近くにある柏崎周辺（二期）農業水利事業で建設した後谷ダムを例として、「水と人とのかわり」をテーマに行いました。

授業のはじめに、「何が一番水を使っているか」を尋ねると、お風呂や飲み水といった生活用水との意見が多く挙げられました。しかし、実は農業用水が水の使用量の6割を占めていると教えると、児童はとても驚いた様子でした。

田んぼで水を多く必要とする夏に降水量の少ない柏崎市では、どのように水を確保したら良いかを尋ねると児童はしばらく考えてから、ハッとひらめいた様子で「あっ！貯める！！」と答えてくれました。

冬の水を貯めるための施設として、ため池やダムを紹介した後、西山町にある後谷ダムは、田んぼや畑に水を送るために水を貯めていることを説明しました。また、「ダム工事によって住処のなくなる動植物は移植が必要であり、モリアオガエルやヒツジグサ、ノハナショウブなどを移植した」と伝えると児童はどんな生き物や植物なのだろうかと興味を持った様子で、一生懸命にノートにメモをとっていました。

最後に、「後谷ダムで動植物の観察会を行いますので、楽しみにしてください」と伝えると「はい！」と元気な返事を頂き、出前授業は終了しました。

6月中旬には、後谷ダムで動植物の観察会を行うことを予定しています。今回の授業で学んだ後谷ダム周辺を実際に歩きながら、移植した動植物を自分の目で見て、手に触れて確かめてもらうことで、後谷ダムの様子や多くの動植物が生育していることを感じてもらえるような観察会にしたいと思います。



内郷小学校 出前授業風景  
有田先生（ニックネーム：カメラマン）



二田小学校 出前授業風景  
佐藤先生（ニックネーム：お米先生）